

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましよう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間にならましよう。

奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましよう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましよう。

奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましよう。

奈良市民だより

No 201

市民のうごき

(5月15日現在)

人口	206,710
男	100,475
女	106,235
世帯	62,544

発行所 奈良市役所
奈良市東寺林町38(郵便番号630)
電話 (0742) 24 1111 番
月2回 (1日・15日発行) 全戸配布



ひざを交えて市政を語る

地元から活発な発言

今年の市政懇談会始まる

民主的な市政は、市民の声をくみあげて施策することが基盤だといわれます。奈良市政が三本の柱の一つに「すべて市民本位に」を掲げているのもそのためです。政治をする側と、市民とのコミュニケーションを風通しよくし、同時に地もとの自治意識を高めていくための市政懇談会は、ことし四年目を迎え、五月から全市民にわたって順次開催されています。市役所と市民を結ぶ太いパイプとしての役割を果たすこととしよう。

ことし最初の市政懇談会が五月十九日午後二時から飛鳥小学校講堂で開かれました。地もからは自治会、民生委員、未亡人会、遺族会、小学校教育会、婦人会、老人会などから六十人が参加しました。市からは市長、助役、関係局部長ら首脳が出席し、植田美三郎氏(飛鳥地区自治連合会長)の司会です。すめられました。はじめに健田市長から「市政の目標は『近者よりこび遠者来たる』のまじぶくりで、その基本態度は『すべて市民本位に』」と述べ、その基本態度は「すべて市民本位に」

飛鳥地区市政懇談会での主な懇談要旨は次の通りです。

市庁舎は全市民的な見地に立つて

◇女子大付属高校北側の下水路を暗きよにして、道路を拡張して歩道をもうけてほしい。

昨年この懇談会で要望されたもので、四十二年度に都計道路として幅十六メートル、三車線に改良し、両側に三・五メートルの歩道をつけることで予算化した。女子大側は校舎を改築するときに考慮するということで話は進まなかった。いま第三者に仲介の労をとってもらっている。今年度中にメドをつけ、来年度に国に補助申請して承認をとった上で着工するつもりだ。女子大とも十分に折衝する。

市庁舎の移転には反対する

市民に深い関係のある重要な問題なので、市としても庁舎建設審議会で審議願っている。まだ結論を得ていない状態で、移転反対陳情についてもどのような結論が出るかわからない。もちろん、旧市とか新市とか区別するのでなく、

市全体の発展を第一に考えながら検討していく。

御所馬場町の不法駐車は何とかならぬか

警察署長に申し入れをしたが、付近の交通事情から片側駐車を認めており、種々の事情から今しばらく様子を見たいとのことだった。ダンブカーの駐車禁止についてはさっそく警察へ申し入れた。

飛鳥小学校、幼稚園とあわせ考える

◇飛鳥小学校の増設、校地拡張、プールの移転、運動場の排水および幼稚園の増設、園児の遊び場の拡張をのぞむ。

校舎については、明年度に国庫補助を受けられるよう県と打合わせしている。プールを移転して幼稚園の遊び場にしたいが、小学校校舎の改築、幼稚園園舎の確保とあわせて考え、早く予算措置を講じた。運動場の水たまりは、昨年砂を入れたが、なお東側からの水を下水溝へ落とすなどの方法を講じたい。

白毫寺南側下水路と町内の道路決

て市民本位に。すべて計画的に。すべて夢をもって。ということでもあります。ことしはあらたに福祉天国建設のための福祉行政の徹底のほか、生涯教育の強化をはかり、眠れる心のよび起しと、かくれた力の掘り起しのための、くぐろろろさん運動、早寝早起き運動の推進など、ほんまもんの行政に取り組んでまいりたい。そのためにも大いに市民の声を聞き、それを市政に反映していきたい」と基本的施策を説明、地もとから出された身近な問題について、ひざを交えて懇談しました。地もと代表の盛んな意見や質問があり、市理事者が懇切にこれに答え、内容のある懇談会でした。

市民本位の市政は、不満や不公平のない市政で、その実現は

壊れ所の補修を早く

寺山霊苑からの排水は、施工者や地元水利組合長と協議して施工したが、一時的に出る多量の水については技術的に検討して解決したい。道路の補修については、土木課で調査済みなのでさっそう工事にかかる。

蚊とハエの撲滅はどうなっているか

◇蚊とハエの撲滅はどうなっているか。成果が十分でないが、昨年動力散粉機で地上散布したが、すみずみまで行き渡らなかった。ことしは七月八月にかけてヘリコプターで空中散布する計画だ。

「ほほえみの鐘」は全市で14カ所設置

◇ほほえみの鐘の設置はどうなっているか。この地域にはないが、本庁屋上と東市小学校にある。全市に十四カ所に設置し、迷惑にならない音量で鳴らしたい。「早寝早起き」運動を推進する目的だが、一方では少年の非行防止の意味もある。夏は朝の五時、冬は六時、夜は九時に鳴らしたい。また正午には時報も兼ねさせたい。

先月の市内災害

	(累計)
火災発生	2件 (15件)
建物その他	0件 (6件)
救急車出動	133件 (605件)
交通事故	126件 (528件)
死者	0人 (6人)
傷者	134人 (621人)

(4月26日～5月25日)
市消防本部・奈良警察署調べ

また「私たちの町は私たちの手で」という自治意識の高まりから始まります。十一月までに全市二十五地区(二十三会場)を巡回開催することになっています。

写真展は飛鳥地区懇談会

◇下水道事業は都市計画事業の一環として、国の認額によって実施してきているので、大幅な事業が出来なかった。今年度からは受益者負担金制度に基づいて実施することになったので、大規模な事業ができる。おしやる地区の下水道は何年度に施工できるか確答できないが、調査してご期待にこたえたい。なお下水溝のふたのない危険箇所はすぐ現地調査をする。

循環道路の北紀寺町十字路に歩道橋をつくらせたい

児童や幼稚園児がたくさん通るという事情はよくわかっていて、市通学路踏切交通安全対策協議会を通じておねがいしているが、今後皆さんの協力を得て実現に努力する。はまや住宅前の交通信号灯も同協議会で取り上げ実現できよう検討する。

◇能登川町内の農用水路が、新住宅街の排水で下水化している。これを分離してほしい。

かんがいには使った農用水路が住宅開発で下水路になってしまった状態だと思ふ。下水道課、土木課、建築課でよく調査し善処したい。

所得控除の区分	所得控除額		
	44年度	45年度	引き上げ額
基礎控除	120,000	130,000	10,000
配偶者控除	100,000	110,000	10,000
扶養控除(扶養者がいない場合)	60,000	80,000	20,000
障害者控除(障害者の障害が1等)	80,000	90,000	10,000
障害者控除(障害者の障害が2等)	70,000	80,000	10,000
障害者控除(障害者の障害が3等)	90,000	100,000	10,000
寡老労働者控除	70,000	80,000	10,000
医療費控除	70,000	80,000	10,000
所得控除の5%をこえる額	150,000	300,000	150,000

四十五年度の個人市・県民税の第一期分納期は六月十五日から同月末までとなっています。この税金は所得税法と地方税法の改正で、各種の控除額が引き上げられました。給与所得者で夫婦と子ども三人の標準世帯の市・県民税の課税最低額は四十

各種控除額引き上げ

軽減される本年度市・県民税

四年度より約十万五千円引き上げられ、七十二万九千円になりました。

それぞれの所得控除額は上の表のとおりです。

このほか障害者、未成年者、老年者および寡老労働者の方の非課税の範囲となる所得金額の限度も二万円引き上げられ三十二万円となりました。また、給与所得控除額も引き上げられました。四十五年と四十四年の所得金額が同じと仮定して、標準世帯

お米のとき汁

お米のとき汁で顔を洗うと、はだかすっきりして、髪がこまかになります。髪を洗うときは、いちど煮たててから使います。よれがよくなり、いつも髪がしっとりします。



母をねぎらう

母子家庭の子の成人祝い

女手一つで育てた愛児が今年成人式を迎えた母子家庭のおかあさん、その労をねぎらう会が五月十七日午前十時から市立椿井小学校講堂で開かれました。さる十日の「母の日」にちなんで催されたもので「おかあさんごころうさま」「成人おめでとう」の文字やカーネーションでいっぱい飾りつけた会場に母子家庭のおかあさんと愛児が六十二世帯九十六人のほか松本(伍)市議会議長、福田同教育厚生委員長、阿波谷梅華会顧問来賓十六人も出席、全員で母子家庭をうたった「生きぬく白百合」の歌を合唱、そのあと主催者健田市長は松本議長とともに一人一人に記念品を手渡しました。

健田市長は「子どもさん方は立派に成人されたのだから、これからはおかあさんを大切にして、これまでの恩返しをしなければいけない。またおかあさん方は、子どもの成長を楽しみに歯を食いしばってこられたご苦労は大変なことだったのでしょ

う。これからも心に太陽をもって幸福な人生を生き抜いてください」とねぎらいました。母子家庭の子どもの代表として、市内下狹川町社会員杉本公子さん(20)は「きょうこのよくなを私たちが母子のために催していただき、いままさらながらに母の力で育てられたよるこびと感謝の気持ちで、いっぱいです。立派な社会人になっておかあさんにご恩返しをします」とお礼の言葉を述べました。

このあと才能教育研究会奈良支部長寺沢大齊氏の「しあわせの道は」の講話があり、茶話会のあと全員で三百六十五歩のマーチを元気づけうたいました。

税金が還付される場合がありますので、該当の方は申し出て下さい。また、日常家庭で使っている電気・ガスについても免税点が引き上げられ、電気は一月の料金が六百元(従来は五百円)以下、ガスは一月の料金が千二百円(従来は千円)以下の場合に税金がかからないことになりました。

過日、申告していただきましした四十五年度普通徴収市民税の納税通知書を間もなくお届けします。奈良市では、ほほえみいっばいのまちづくりに積極的に取り組んでいますので、市民の皆さまも納税にご協力いただきまして、期限内にお忘れなく納入ください。よろしくお願いいたします。

道路にも補修機動隊

三班編成ですでに活躍中

奈良市では、新年度からの事業として道路や橋、ガードレール、歩道橋などをいつも完全に維持管理するための「機動隊」を編成し、すでにパトロールや緊急出動に活躍しています。この機動隊は次の三つの班から成り、パトロールカーによる常時巡回で修理箇所やあぶないところを発見し次第、すぐに修理するほか、樹木の管理や植えかえもします。また市民から要請があればすぐに出勤もします。

きれいな道、安全な橋、美しい町筋をいつも保ち、明るく住みよい町を実現する先兵的役割りを果たします。

緊急修理機動隊 パトロールカー二台、カーローラー一台(舗装道路修理用)三輪ダンブカー一台(砂利道修理用)で編成、十一人の職員が配置されます。常時パトロールして、すぐに直せるような道路の修理にあたります。

維持補修班 グレーダー一台、四輪ダンブカー二台、ダブルキャビン(六人乗り)一台で編成、これも十人が配置。砂利道や橋、河川、暗渠、側溝など土木施設の補修作業、街路樹の管理作業もします。

舗装補修班 三輪ダンブカー一台、職員五人で舗装道路や防塵処理道の補修作業にあたります。

生活の知恵求めて

「日まわり学級」ひらく

市教育委員会の「日まわり学級」は、五月十三日市立高円公民館で本年度の開講式をあげました。

婦人の生涯教育の場として昭和三十三年に開設した女性教室の各年度終了者のなかから希望

子供を水魔から守ろう

あぶないところを遊ばせない池や用水には防護施設を

全市の地区推進委結成近し

「ごころうさん」早起き運動

「ごころうさん」早起き運動は、市民運動として次第に盛り上がり、その推進母体となる地区推進委員会は学園北地区を残し全市二十四の結成を終りました。こうしてこの運動は、いよいよ底辺へ浸透してゆく体制づくりができることになりました。

その役員は、自治会長、老人クラブ、婦人会、育友会、民生委員、消防団、遺族厚生会など各種団体の役員で構成されています。各地区推進委員長は今後、その地域での推進はもちろん、中央推進委員会のメンバーとして、全市的な運動展開の中核となります。結成済み二十四地区推進委員長はつぎの諸氏です。(順不同、敬称略)

(椿井) 阪本善雄(飛鳥) 植田美三郎(鼓阪) 辻本信治郎(済美) 下出久治郎(佐保) 岡崎重治(大宮) 垣内藤一郎(都路) 橋本万治郎(大安寺) 橋下喜代太郎(東市) 岡田清三郎(平城) 山口正治(辰市) 野村林蔵(明治) 東 寅治(常盤) 宇山源藏(精華) 中井一雄(伏見) 上村増太郎(あやめ池) 水野竹蔵(学園南) 中西芳太郎(富雄北) 西口栄一(富雄南) 阪本博(田原) 松本治(柳生) 辻岡光雄(大柳生) 森下楠義(狭川) 中井宗一(東里) 殿之一男

窓口で渡す3つの手帳と奈良親子



カレーライスづくりのウデを知られた鎌田市長、五月十二日西本辻町公民館で同町自治会に招かれて地元婦人会の料理教室の講師となりました。超し型のエプロン姿に、おしゃもじさばきも鮮やかに自慢の印度カレーのつくり方を披露、「ご主人によい仕事をしてもうためには、魂のこもった料理を……」と精神訓話も織りまぜて、おまけに独特の「玉ねぎのつけ物」の作り方も一席、三十人のご婦人は大よろこびでした。

市長さん得意のカレー

◆料理教室で腕前を披露



ご自慢のカレーライスに腕を揮う鎌田市長

窓口で3つの手帳

今年度から市民サービスの一環として、結婚には奈良親子と「愛の泉」、出生には「愛の宝」、死亡には「慈門」の三つの手帳を、届けに来られたとき、市民課の窓口でお渡しすることになり、五月十四日から始めました。

その第一号は「愛の宝」が京終地方東側一〇、農口忠さん(33)で長男史人ちゃんの出生届。また「愛の泉」は北永井町四三一の二、虎枝美さん(28)と妻清枝さん(21)の婚姻届。



広い山はだに完成した茶園

大規模な茶園
興ヶ原に完成
奈良市の東部、柳生地区興ヶ原町に大規模な茶園ができました。

慰霊塔公園で
清掃奉仕

都婦婦人会(会長北中ヨシノさん、会員七百八十人)と同地区梅華会(会長岡本ミツノさん、会員八十人)が、五月十四日市内五条町にある慰霊塔公園の清掃奉仕をしました。



清掃に汗流すご婦人たち

善意は
市慈善銀行
(5月)

- ◇六日 毎年児童福祉週間保育園はじめ児童施設に寄付をつづけられる西大寺町三和住宅の小林茂市さんから、こしも十萬円の寄金がありました。工作用の粘土やクレーン、画用紙などたくさんのもに贈りました。
- ◇十一日 中町の谷垣好子さんから小入用の万国博入場券一枚。
- ◇十二日 学園大和町五丁目、飯田政晴さんから衣料や毛布など、佐紀町桑原政吉さんから三万円。
- ◇二十日 大和高田市Y・Iと名乗る方から大和タイムス社を通じて万国博の切手帳三冊を郵送、不幸なことでも切手に興味のある方へと預託。
- ◇二十日 大和高田市Y・Iと名乗る方から大和タイムス社を通じて万国博の切手帳三冊を郵送、不幸なことでも切手に興味のある方へと預託。

優遇の「老春手帳」贈る

85歳以上の老人四八六人に

「福祉天国」づくりの一環としてつくっていた老春手帳が、五月十八日午前十時半から、お年寄りの各市区代表者二十二人に手渡しました。

この手帳は市内に住む八十五歳以上のお年寄り四百八十六人にお渡しし「老春の家」の入浴をはじめ市内の銭湯、映画館、社寺、大和文庫館、国立博物館、バス乗車がすべて無料で優遇されることになっています。

席上、鎌田市長は「お年寄りは市の宝です。この手帳は、いつまでも元気で長生きをしてほしいとの祈りと願いをこめたものです。このほか長寿のつえももらっていただきます。この手帳を大いに活用してください」とあいさつ。これに答えて、市内法蓮佐保田町の福島信二さん(87)は、みんなを代表して「お情けと恵みある手帳をいただき感謝にたえません。私たちは与えられた余命を生きがいのあるものに、これにおこたえます」と感慨こめてのお礼をいしました。

記念のプレゼント

奈良ライオンズクラブ

奈良ライオンズクラブ(会長大垣正人氏、会員八十六人)が国際協会加入を認められてちょうど十年、これを記念しチャーターナイト奉仕事業の一環として、五月三十日奈良市内の小学校、高校四十三校へスノキを一本ずつ寄贈しました。ほかに奈良YMCAへトランポリン、県美術人協会と南都楽所へ各金一封、奈良警察署へ交通事故発生状況告知板、ボーイスカウト県連盟へキャンプ用テント一そろえをそれぞれ寄贈。

8月上旬発行
奈良市史「地理編」

奈良市の歴史を集大成する「奈良市史」全十五巻のうち、民俗、考古、地理、自然編も発行する予定です。くわしいことは市教育委員会社会教育課文化係(電話二二三番)へお問い合わせください。

剣士の入会待つ

京東剣友会

市内西木辻町にある西木辻公民館内京東道場に「京東剣友会」がこのほど発足、青少年剣士の参加を待っています。練習日は毎週月・水・金曜午後六時〜八時まで、市内在住、在勤の方なら年齢、性別に制限はありません。入会希望者は随時、西木辻公民館内京東道場へ申し込んでください。お問い合わせは同会辰巳運営委員長宅(電話二六八四六番)へ。

税の相談日

5・15・25日

奈良税務署

大人	一、〇〇円
中学生以下	五〇円

三年会員